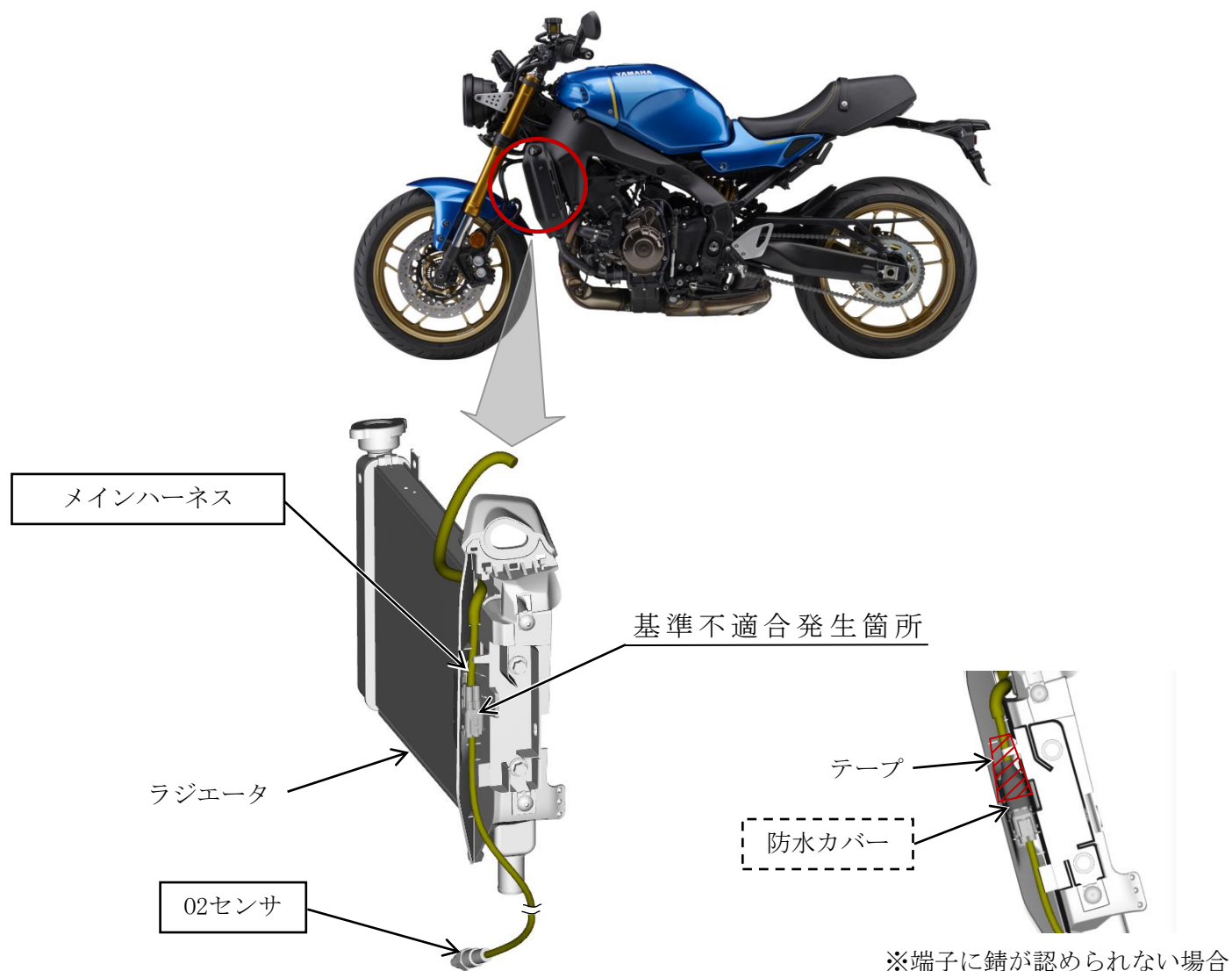


改善箇所説明図



メインハーネスにおいて、O₂センサの配線に接続するコネクタの防水構造が不適切なため、雨天走行等でコネクタに溜まった水が、原動機を停止した際などO₂センサが冷えることにより、当該コネクタ内部に吸い込まれ、端子が短絡することがある。そのため、エンジン警告灯が点灯し、そのまま使用を続けると、排出ガスが基準値を満足しなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、メインハーネスとO₂センサのコネクタ内の端子を点検し、錆が認められないものは、防水カバーを取付けてテープで固定する。錆が認められるものは、メインハーネスを対策品と交換するとともにO₂センサを新品と交換する。

識別：リコール番号入りの識別ステッカーを車台番号打刻位置付近に貼付する。

注： は点検後端子に錆が認められない場合、追加する部品を示す。

 は点検後端子に錆が認められる場合、交換する部品を示す。